

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

Rotary
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 ☎491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話<0586>24-1931

UNITE FOR GOOD

URL: <http://rc138.org> E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp

2026年2月19日
第3667回例会

プログラム
卓話

坂野公治君

「魅力ある地域づくり・まちづくりに向けた
名鉄グループの取組について」

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

第3666回例会の記録
2026年2月5日(木)

会長挨拶

山上哲司

2月はロータリーの「平和と紛争予防月間」です。アメリカのトランプ大統領は数多くの紛争、戦争を終結させ国際社会に平和をもたらしたとの理由で、自身がノーベル平和賞を受賞しないのは理不尽であると強弁していることは広く知られています。

私は、ロータリアンが目指す平和とは、トランプ大統領が喧伝しているような壮大な事案に限定されるものではなく、互いを尊重し、誰もが安心して暮らせる社会を実現することであると考えています。

当クラブでは地域に寄り添うさまざまな奉仕活動を実践しています。例えば、介助犬支援プロジェクトは介助犬を必要とされる方々の自立と尊厳を支えようとする活動で、まさに「人が人を支える平和のかたち」の例であると思います。また、地域の他のロータリークラブと協調した様々な活動を続けていますが、こういった地域をつなぎ、共に歩むことも平和な社会の実現につながるのではないのでしょうか。

「天の星に竿をのばすより、足もとの石を拾おう」という当クラブの初代会長・安野謙次氏が残された言葉にあらためて思いを寄せ、次世代に伝えていきたいと思えます。

理事会報告

大鹿晃裕

* 報告事項 *

- ☆ 2月度のプログラムは週報掲載
- ☆ 1月度のニコボックス 16,000円
- ☆ 1月度のドリンクニコボックスは 1,960円
- ☆ 萩原 仁君退会
- ☆ ロータリーレート2月から154円(現行 156円)

次回の予定

卓話

家田 崇氏(南山大学法学部教授)

会 長	山上 哲 司	会長エレクト	桑原 英 寿
副 会 長	梯 國 彦	副 幹 事	吉山佐人規
幹 事	大 鹿 晃 裕	会報委員長	梅 谷 朋 志

* 協議事項 * 以下の項目を承認

- ☆ 新春夜間例会決算
- ☆ 春の親睦家族会開催 4月16日(木)例会変更
- ☆ 第6回地区米山記念奨学委員会 1名登録
- ☆ 第2回クラブ国際奉仕委員長会議 1名登録
- ☆ 米山奨学期間終了者歓送会 2名登録
- ☆ 2026-27年度クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー 登録
- ☆ 市民と企業の協働フェスタ後援名義使用
- ☆ ホームページサーバー移行費用・今後の維持費
- ☆ 2月末臨時会費引き落としについて
新春夜間例会登録料 8,000円

委員会報告

ニコボックス

中島崇介

☆ 土川保夫君

本日の卓話講師に一宮市消防長の帖佐義文氏をお迎えできた喜びで。

☆ 速水英一君

1月29日の夜間例会におきましては、日本料理江美をご利用いただきまして、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。皆様に足をお運びいただく際は、私共もいつも以上に身が引き締まる思いでございます。「一期一会」の精神を胸に、精一杯の料理と接客を心がけておりますが、当日はこちらの不手際によりお時間が押してしまい、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。この度のことを真摯に受け止め、次回はより円滑にお食事を楽しんでいただけるよう、スタッフ一同改善に努めてまいります。山上会長をはじめ、メンバーの皆様にはいつも貴重な機会をいただき、心より感謝しております。今後とも、日本料理江美を何卒よろしく願い申し上げます。

☆ 佐々木久直君 富田隆裕君

本日、交換留学生のベルト君をお迎えした喜びで。ベルト君、日に日に日本語が上達しています。皆様ベルト君とは是非お話し下さい!

☆ 山上哲司君 大鹿晃裕君

本日は一宮市消防本部消防長帖佐義文様からの「消防活動について」の卓話を頂きます。最近火災が山中、街中と多いので参考にしたいと思えます。また先日クラブサポートミーティングにて大竹ガバナー補佐より西尾張分区のテーマ「歴史と伝統息吹く西尾張、奉仕の心を継ぐ9クラブ」の発表がありましたので報告いたします。

出席報告

現在の会員数	110名
本日の出席数	72名
前々回の出席率	100%

***** プログラム *****

卓話

帖佐義文氏(一宮市消防長)

「消防活動について～消防活動の最前線」



本日は地域のリーダーである皆様の前で、日頃私たちが使命としている「消防活動について」お話しできることを、心より感謝申し上げます。「消防活動の最前線」というサブテーマで、災害から市民を守るために、私たちが取り組んでいる様々な活動について、具体的な事例を交えながら大きく4つについてお話しさせていただきます。

1 一宮市消防本部の組織体制について

一宮市消防本部は、総務課、予防課、消防救急課、通信指令課からなる消防本部と、一宮消防署本署以下3消防署、1分署、8消防出張所からなる消防署で構成されており、通信指令課と消防署では昼夜問わず 24 時間体制で市民の皆様の生命と財産を守るため活動しております。日々の消火・救助・救急活動はもちろんのこと、火災予防業務や消防団との連携など、多岐にわたる任務にあたっております。消防職員数は、現在 406 名となっています。

2 火災・救急・救助活動について

令和 7 年中の火災件数は、60 件でした。残念ながら火災により5人の方がお亡くなりになりました。火災の原因は、たばこ、電気機器が上位となっており、電気機器の中にはモバイルバッテリーが含まれています。昨年は、全国的にリチウムイオン電池が原因で、火災が多く発生し話題になりました。皆様もモバイルバッテリーの取り扱いには、十分注意をしてください。

次に、救急出動件数ですが、21,199 件でここ数年微増傾向ではありますが、過去最多の件数となりました。また、搬送人員では、65 歳以上の高齢者が 13,336 人(66.1%)と最も多い状況となっております。

最後に救助件数ですが、272 件で 124 人の人が救助されています。最近の傾向として、連絡が取れなくなった一人暮らしの高齢者のお宅を訪れた家族やヘルパー等から、119 番通報があり、鍵がかかっている中に入れないう事案が増加しています。これが増加している救助件数の一つです。

3 緊急消防援助隊の活動について

一宮市消防本部は過去 7 回緊急消防援助隊を派遣しました。

本日は、災害派遣3件について活動をご紹介します。

はじめに平成 23 年に発生した東日本大震災ですが、この地震では東日本の太平洋沿岸

部に広い範囲で甚大な津波被害が発生しました。その中で一宮市消防本部の派遣先は、宮城県亘理町という地域でした。この地域では沿岸部から約 4 km以内は津波被害にあっていました。海水が引いた地域では見渡す限り建物が原形をとどめていない状況で、瓦礫の山の中から、行方不明者を探すという活動でした。

次に平成 26 年に発生した御嶽山噴火災害は、58 名の登山者が犠牲となった災害でした。頂上付近の山荘は、噴石によって破壊されました。噴石の大きさは 30 センチから 50 センチの塊という情報もありました。活動は、降り積もった火山灰を掘り起こして行方不明者を捜索する活動でした。

山の災害は誰も経験したことがなく、大変だったのは頂上の 3,067m まで登ってから活動が始まるということです。登山口まで車で行き、そこから重い資機材を背負って3~4時間かけて歩きます。中には高山病になり体調不良を訴える隊員もいました。

最後に紹介するのは令和 6 年に発生した能登半島地震です。

一宮市消防本部の派遣先は、石川県輪島市でした。この地域での活動は、1 階部分が押し潰された倒壊家屋からの救出や、土砂に埋もれた瓦礫や泥をかき分けての救出でした。

4 南海トラフ地震に対する備え

一宮市消防本部では地震に備えて感震ブレーカーの設置を普及啓発しています。感震ブレーカーとは、地震を検知した時に、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具になります。地震の揺れに伴い電気機器から出火したり、停電が復旧した時に、損傷した電気コードなどから出火しています。安価に取り付けができる「簡易タイプ」もありますので、地震に備えて感震ブレーカーを設置しましょう。

一宮市では、公式 LINE に防災メニューの「防災 LINE」を追加しました。地震に備えて今からできる対策や、地震が起こってしまった時の避難所情報や安否確認など、役立つ情報がすべてこの防災ラインから確認できます。まだ登録していない方は、この機会にぜひ登録をお願いします。

本日もお話しした内容が、皆様の防災意識の向上や、ロータリークラブの皆様が実践されている地域貢献活動の一助になれば幸いです。本日は誠にありがとうございました。



令和6年能登半島地震 倒壊した家屋で要救助者を捜索する隊員